

明るい漁村

JF
JFしまね

漁業協同組合 JFしまね

第161号

発行日：平成18年6月30日

編集兼発行人：漁業協同組合JFしまね

題字：澄田島根県知事

印刷所：松村印刷株式会社

漁業協同組合JFしまね第1回通常総代会.....	2 ~ 7
漁業協同組合JFしまね発足記念式典.....	8 ~ 10
特集「JFしまね」.....	11 ~ 15
JFしまねトピックス.....	16
ひとこと随想.....	16



第1回通常総代会



去る6月10日午前10時よりホテル一畑（松江市千鳥町）で出席総代135名、内本人出席119名、委任状による出席2名、書面によるもの14名）により第1回通常総代会が開催された。

総会では冒頭に岸宏JFしまね会長が挨拶し引き続き来賓の澄田県知事、植村全漁連会長から祝辞を戴いた。続いて議事に移り、議長に平木操浦郷地区総代が選任され、

第1号議案 平成17年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに損失処理案の承認を求める件

第2号議案 平成18年度事業計画及び収支見込書の承認



平木 操議長

認を求める件

第3号議案 平成18年度における借入金の上限度額決定の件

第4号議案 平成18年度内における理事及び監事の報酬決定の件

第5号議案 定款の一部変更に関する件

第6号議案 規約の一部変更に関する件

第7号議案 信用事業規程の一部変更に関する件

第8号議案 平成18年度賦課金の徴収に関する件

第9号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件

全9議案原案通り承認された。

また、特別決議として

「竹島領土権確立に関する件」「漁業協同組合JFしまねの行動指針」が提案されいづれも原案通り承認された。

引き続き、岸会長より来年夏の参議院島根選挙区の選挙において、景山俊太郎議員を推薦したい旨提案があり、満場一致で推薦決議を行った。

ごあいさつ

代表理事会長 岸 宏

任も痛感をいたしている所であり
ます。

現下の漁業の状況は、市町村行政で合併が急速に進展する一方、燃油高騰、魚価の低迷等厳しいものがあります。こういう中で、漁業・漁村・協同組合が、将来に向かって確かな展望を開くためには、漁連も信連も漁協も一つになって新しい組織を構築することが必要との確固たる信念を持って今日まで合併を進めて参りました。この間それぞれの地域で組合員、役員、職員の皆さん方、一緒になって協議をしていただき、最終的には「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合精神に基づいて「小異を捨てて大同につく」ご判断を賜り、1月1日には「漁業協同組合JFしまね」が発足、予定通り4月1日には島根県漁連も信漁連も合流

し、名実ともに総合事業体としての体制が整った次第であります。皆様方のご理解に改めて感謝を申し上げます。

平成17年度は3ヶ月間の事業でありました。まず第一は、協同組合の一つの形をつくる、その期間であったと考えております。それぞれの支所間或いは本支所間、役員も職員も組合員も一体感を共有できるような環境を作っていくことを主眼におきながら、諸規程を整備し、役員会、支所長会議を積み重ねて参りました。

第二は、漁協合併の大きな目標・課題でありました、油の価格体系の見直しによる値下げ、また、魚箱の統一化による値下げであります。この問題も3月までに目処を付け、4月1日から新価格体系で値下げをして供給することが出来たわけでありました。しかしながら燃油価格はそれ以上の急騰であり、緊急対策として5月1日から半年間の価格値引きを実施しています。今後とも状況に併せ、適宜適切な対応をしてまいります。

協同組合の精神はみんなが一緒

になって利用し仕事をする、そこに活路があります。

全ての物が値上がりする中でなぜ魚箱が値下げできたか……。

皆様のご協力によって「漁業協同組合JFしまね」が一括して箱を供給する体制が出来たからです。これからは、課題一つ一つを着実に解決しながら、ご要望にお応えして参りますのでご協力の程よろしく願います。

17年度の事業は、2月・3月不漁でありましたが最終的に期間利益として2億円余を計上し予定通り繰越欠損金を償却することになりました。承認を賜りたいと思えます。

次に、18年度の計画についてであります。実質的には事業が初年度になるわけでございます。当初からの目標であります、組合員の所得向上、安全安心なしまねの魚を供給する、地域社会に貢献する。この3つを柱にしながら、「信頼と挑戦」を基本理念に諸般の事業に取り組んで参りますので、組合員の皆様の積極的なご理解ご協力をよろしく願います。



本日の総代会において、各地区から選ばれた総代の皆様と一緒に会しひしひしと一体感を感じながら、「漁業協同組合JFしまね」が現実に出て来たんだなという思いを実感する一面、また、立派な組合に育てなくてはならないという責



新役員挨拶

新役員名簿

常勤	岸本	良男 (新任)	監事	神門	勉	代表	加藤	二士 (新任)	代表	小笹	博	監事	月森	陸	監事(五名)	中島	謙二	米田	政義	吉原	幸則	曾田	利行	扇谷	豪	山本	千代則	牧野	正義	樋野	健治	谷口	一春	理事	筑谷	允行	専務	永田	正二	池田	隆二	金坂	敬	副会長	団野	清	代表	岸	宏
----	----	------------	----	----	---	----	----	------------	----	----	---	----	----	---	--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	-----	----	---	----	---	---

損益計算書

平成18年1月1日から平成18年3月31日 (単位: 千円)

科目	金額
1. 事業総利益	320,291
(販売事業総利益)	225,028
(購買事業総利益)	65,316
(共済事業総利益)	24,102
(製氷冷凍事業総利益)	13,584
(加工事業総利益)	1,737
(利用事業総利益)	1,176
(その他事業総利益)	2,230
(指導事業収支差額)	5,487
(無線事業収支差額)	539
2. 事業管理費	430,501
(人件費)	273,952
(旅費交通費)	8,226
(業務費)	22,039
(諸税負担金)	7,605
(施設費)	48,712
(減価償却費)	59,302
(雑費)	10,665
(事業利益)	110,210
3. 事業外収益	2,574,724
4. 事業外費用	2,323,308
(経常利益)	141,206
5. 特別利益	282,807
6. 特別損失	207,963
(税引前当期剰余金)	216,050
7. 法人税・住民税及び事業税	2,256
(当期剰余金)	213,794
(繰越剰余金)	528,171
(当期末処分剰余金)	314,377

平成17年度決算の概況は次のとおりです。
本組合事業にご協力賜りました組合員各位、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成17年度 決算状況

貸借対照表

平成18年3月31日 (単位: 千円)

科目	金額	科目	金額
1. 共済事業資産	100,528	1. 共済事業負債	198,361
2. 流動資産等	7,672,589	2. 流動負債等	3,904,902
現預金・有価証券	2,921,002	支払手形	109,645
受取手形	25,478	短期借入金	1,728,069
経済事業未収金、経済事業雑資産	2,849,323	経済事業未払金、経済事業雑負債	1,597,643
棚卸資産	974,492	未払法人税等その他の流動負債	469,360
その他の流動資産	1,627,291	信用事業譲渡特別負債	185
信用事業譲渡特別資産等	1,534,147	3. 固定負債	6,337,771
貸倒引当金	2,259,144	長期借入金	5,512,142
3. 固定資産	7,622,083	受入保証金	780,909
有形固定資産	5,482,975	出資預り金、その他の固定負債	44,720
無形固定資産	27,769	4. 諸引当金	2,414,345
外部出資	2,104,739	負債合計	12,855,379
その他の固定資産	6,600	1. 出資金	3,011,380
4. 繰延資産	197,592	2. 法定準備金、任意積立金	40,410
		3. 当期末処分剰余金	314,377
		(うち当期剰余金)	(213,794)
		資本合計	2,737,413
資産合計	15,592,792	負債・資本合計	15,592,792



本組合創立実質初年度の事業推進にあたっては、「信頼と挑戦」を基本理念に先ず組合員からの信頼を得ることを最優先に事業の見直し改善と新規事業開拓に積極的に取り組みながら、組織・経営基盤確立に向け役員・組合員一丸となつて取り組むこととする。

重点推進事項

1. 販売事業

組合員の本組合市場への全面出荷体制の確立に務める。
共通仲買制を活用し、新規仲買人の参入によって魚価向上を目指す。

2. 購買事業

自己買参権を積極的に行使し、買取販売の拡大を図りながら魚価対策を講ずる。
急騰する燃油価格対策に適切に対応しながら、物の確保と安価仕入れに努む。

魚箱・一般資材については、一括仕入れによるコストダウンを図ると共に組合員の全利用体制を確立する。

3. 信用事業

信用取りまとめ店舗、信用事務を集中のうえ権限委譲し事務の効率化と迅速化を図る。

運営の効率化と利用者へのサービス維持・向上のためATM機器の導入や事業の統廃合を検討する。

4. 共済事業

事業の目標および戦略をもとに指導・推進業務も強化を図り、

事務の充実と統括管理を行う。JFしまね設立記念キャンペーンを組織を挙げて展開する。

5. その他事業

冷凍冷蔵事業については、販売事業と連携し魚価維持に努め有機的な運用を図る。

製氷事業については、利便性を踏まえた配送機能体制を確立し、より安価な供給を目指す。加工事業については、新たな「しまねブランド」の開発や消費者TDSに対応した商品開発に努め、生産物の付加価値向上に努める。無線事業については、平成20年

度県内1局化にむけた具体的計画の検討作成を行う。
管理・財務体制については、経営基盤確立のため広範な角度から地区運営委員会、地区座談会等で検討を加えながらその体制整備に努める。
指導事業については、諸漁政対策事業、市町村を核とするブック漁業振興対策の推進、漁業再構築対策・担い手後継者対策・繁殖保護・営漁指導・生産販売流通対策等の漁業振興対策を行うこととする。

平成18年度事業取扱計画

平成18年4月1日から平成19年3月31日 (単位: 千円)

事業	取扱い高等
受託販売事業	23,178,691
買取販売事業	5,744,971
購買事業	7,879,043
信用事業 貯金残高	43,290,128
貸出金残高	10,165,192
共済事業 長期共済保有高	77,813,900
短期共済保有高	34,850,000
冷凍冷蔵事業	1,695,308
製氷事業	616,022
加工事業	206,340
利用事業	273,373

平成18年度収支計画

平成18年4月1日から平成19年3月31日 (単位: 千円)

科目	金額
1 事業総利益	2,854,894
(販売事業総利益)	1,365,819
(購買事業総利益)	660,522
(信用事業総利益)	467,153
(共済事業総利益)	101,905
(製氷冷蔵事業総利益)	152,381
(加工事業総利益)	26,820
(利用事業総利益)	43,986
(その他事業総利益)	3,135
(指導事業収支差額)	31,185
(無線事業収支差額)	8,258
2 事業管理費	2,835,567
(人件費)	2,028,555
(旅費交通費)	33,231
(業務費)	101,972
(諸税負担金)	78,637
(施設費)	348,710
(減価償却費)	224,382
(雑費)	20,080
(事業利益)	19,327
3 事業外収益	2,413,115
4 事業外費用	2,322,419
(経常利益)	110,023
5 特別利益	2,407
6 特別損失	1,882
(税引前当期剰余金)	110,548
7 法人税・住民税及び事業税	8,000
(当期剰余金)	102,548
(繰越剰余金)	314,377
(当期末処分剰余金)	211,829



総代会で承認された賦課金の徴収については、次のとおりです。詳しくは後日皆様にお知らせいたします。

賦課金の額

正組合員 年間3、000円
准組合員 年間2、000円

徴収時期及び徴収方法

平成18年8月31日までに本組合口座に口座振替または振込み等によって納付する。

「漁業協同組合JFしまね」

行 | 動 | 指 | 針

- 一、JFしまねは、組合員の所得向上に努めます。
- 一、JFしまねは、資源豊かな島根の海を創ります。
- 一、JFしまねは、安全・安心・新鮮な島根の魚を届けます。
- 一、JFしまねは、地域社会の発展に貢献します。
- 一、JFしまねは、明日を担う人を育成します。

新総代決定

任期

自平成18年7月1日
至平成21年6月30日

平成18年6月5日に告示された漁業協同組合JFしまねの
総代選挙により次の皆様が新総代に当選されました。
今後のご活躍を期待しますとともに、JFしまね躍進への
お力添えをよろしくお願い申し上げます。

美保関

今村 喜彦
上野 賢治
河本 昌吉
木村 二郎
善浪 洋
永田 豊治
野村 博
浜村 毅
舩越 洋一
山本 一夫
吉田 俊一
朝倉 輝夫
朝田 幸弘
石川 邦雄
石橋 幹夫
小川 勝利
小川 渉
北野 操
品川 定弘
角田 隆

恵曇

田中 幸
寺本 勉
福島 和男
村上 俊
村上 眞吉
青山善一郎
青山 寛身
小笹 伸明
金坂 一吉
金崎 利善
川上 清忠
清水 若美
田中 学
山本 繁
山本 純市
山本善五郎
藤井 裕一
岡 稔
岡 良
金築 茂美

平田

有限会社栄徳水産
代表取締役

大社

金築 義信
釜屋 文義
郷原 豊実
佐藤 幸一
佐藤 英則
高橋 健
長廻 昇
山根 尚光
伊藤 裕
江角卓一郎
九矢 一男
齋藤 友義
中尾 雄一
中島 貞之
柳楽 和利
錦織 英司
福間 文雄
三原 利夫
木村 武好
郷原 貞利

大田

仁摩

辻 善之
中島 幸一
中島 重夫
中村 和生
林 肇
堀 守
森山 秀敏
山内 雪久
吉田 敬治
和田 等
渡邊 泰行
板木 勝也
越堂 功
繩 恒孝
西田 英明
森田 晟彦
山根 和男
横田 幸夫
安達 悟
幾田 良人
石田 寿徳
上野 国和
江川 賢一
太田 正
尾花 房雄
甲斐 新弥
柿谷 紀
川本 文治

益田

田町 義人
中嶋 健次
中山 定重
西藤 壽一
浜村 尚登
福島 清喜
福本 秀人
山本 硯治
渡辺 恭郎
梅田 信男
大賀 初巳
川崎 哲男
木原 文雄
田中 宣之
中島 泰治
升岡 修
松原 高一
宮野 貢
安部 強
池田久之助
池田 英雄
石田 正治
稲葉 昭美
岩本 和美
大田 豊明
葛西 清秀
亀井 信昭
仕立正太郎
清水 均
砂本 憲一

浦郷

竹谷 洋司
中西 功
野津千寿夫
野津 亮一
濱田 利長
福田 晃
福本 秀人
前田 芳樹
湊 好男
森 広幸
八幡 昭三
山川 修
吉田 政司
米津 敏男
井上 孝夫
岸菜 昇
小中 竹雄
酒井 義博
佐々木勝徳
長府 吉信
徳田 博史
平木 操
藤田 美夫
三田 健一
門 哲二
矢田 辰夫
山下 義人
(五十音順)

漁業協同組合 JFしまね発足

記念式典 祝賀会開催

島根県下20漁協が今年1月に合併、4月には島根県漁連及び信漁連を包括承継し漁業協同組合JFしまねが総合事業体として発足したことを記念する式典を、漁業協同組合JFしまね第1回通常総代会に引き続き、午後1時より、松江市千鳥町のホテル一畑「サンシャインホール」に於いて、約250名出席のもと盛大に開催した。



式辞を述べる岸会長

はじめに、岸 宏代表理事会長が「新組合は全国最大規模の漁協であり、その運営においては、「信頼」と「挑戦」を基本理念として、第1に組合員からの信頼を得ることを最優先に、第2に社会からの

信頼を得る努力をする、第3に海の可能性を信頼し持続的に可能な生産体制を確立するために組織が一丸となってその実践に邁進します。」と式辞を述べた。

来賓からは、小林芳雄水産庁長官が「水産資源の減少、燃油価格の高騰、漁業者の高齢化など、水産物を安定的に供給するための基盤が脆弱化している状況において、組合員に直接奉仕することを目的とする漁協は、資源管理や担い手の育成をはじめとする水産業の課題に対応し、漁業生産基盤の維持・強化を図る上で、より積極的な役割が求められており、組合員の意向を反映した新しい組織が、その機能を十二分に発揮できることを



小林水産庁長官



澄田県知事

期待します。」と述べ、元大社町漁協の組合長を歴任され、本組合顧問の青木幹雄参議院自由民主党議員会長からは「出来上がったこの大きな組合は、日本一優秀な組合になるためのスタートである。それぞれの漁協には、歴史や伝統があり、また、色々な問題を抱えているが、時代の流れの中で皆が協力して立派な漁協に成長することを望んでいます。」との祝辞に続いて澄田信義島根県知事、倉井 毅島根県議会議長からもそれぞれ祝辞が述べられた。式典の終わりには、JFしまね青年漁業者を代表して、(有) 事代丸 牧野 勝漁労長(36)から、JFしまねの行動指針が披露された。



力強く行動指針を披露する牧野勝氏



佐野神楽社中による「恵比須」



松浦松江市長の発声による乾杯



万歳三唱の発声をされる西尾出雲市長



万歳三唱

式典に続いて、祝賀会が催され、岸 宏代表理事会長の挨拶後、竹下 巨衆議院議員、景山俊太郎参議院議員から祝辞が述べられ、松浦正敬松江市長の乾杯の発声により、和やかな雰囲気の中で祝宴へ移った。祝宴では、アトラクションとして佐野神楽社中による「恵比須」が上演され、会場全体が祝賀ムードに包まれた。終わりに、西尾理弘出雲市長の発声による万歳三唱に続き、団野 清副会長が挨拶し、祝賀会を閉会した。



青木参議院自由民主党議員会長



竹下衆議院議員



景山参議院議員

発足記念式典 来賓名簿



- | | |
|-------------------|---------|
| 水産庁長官 | 小林 芳雄 様 |
| 参議院自由民主党議員会長 | 青木 幹雄 様 |
| 衆議院議員 | 竹下 亘 様 |
| 参議院議員 | 景山俊太郎 様 |
| 衆議院議員(代理) | 細田 博之 様 |
| 島根県知事 | 澄田 信義 様 |
| 島根県議会議長 | 倉井 毅 様 |
| 水産振興議員連盟顧問 | 浅野 俊雄 様 |
| 水産振興議員連盟顧問 | 細田 重雄 様 |
| 水産振興議員連盟顧問 | 佐々木雄三 様 |
| 水産振興議員連盟会長 | 宮隅 啓 様 |
| 水産振興議員連盟副会長 | 岡本 昭二 様 |
| 水産振興議員連盟幹事長 | 野津 浩美 様 |
| 水産振興議員連盟事務局長 | 藤山 勉 様 |
| 水産振興議員連盟幹事 | 福田 正明 様 |
| 水産振興議員連盟幹事 | 園山 繁 様 |
| 水産振興議員連盟 | 森山 健一 様 |
| 水産振興議員連盟 | 矢野 潔 様 |
| 水産振興議員連盟 | 福間 賢造 様 |
| 水産振興議員連盟 | 井田 徳義 様 |
| 水産振興議員連盟 | 松浦 正敬 様 |
| 松江市長 | 西尾 理弘 様 |
| 出雲市長 | 竹腰 創一 様 |
| 大田市長 | 釜瀬 隆司 様 |
| 江津市建設経済部農林水産課長 | 松尾 紳次 様 |
| 浜田市助役 | 牛尾 郁夫 様 |
| 益田市市長 | 松田 和久 様 |
| 隠岐の島町長 | 松本 茂樹 様 |
| 西ノ島町長 | 影原 正美 様 |
| 知夫村長 | 光吉 一 様 |
| 農林水産部長 | 宮原 邦之 様 |
| 全国漁業協同組合連合会代表理事専務 | |

特集

JFしまね

販売・購買・信用・共済事業等を行う総合事業体としての漁業協同組合JFしまねが4月1日に発足いたしました。
長さ1,028キロに及ぶ島根県の海岸に点在する漁業協同組合JFしまねの支所、出張所は、島根県の漁業振興を図る拠点となると共に、地域の漁業者や漁村を支えていく使命があります。浜を支える漁業協同組合JFしまねの各部署、支所の紹介を交え、特集いたします。

専務理事



永田専務理事

念願であった連合会の包括承継による漁業協同組合JFしまねが4月1日にスタート致し、信用事業につきましても、経済事業との合併により、事業展開の上で総合事業体としての強みを発揮することが可能となりました。初年度は、組合員の利用率向上と自己資本比率10%以上の安定確保を最重要目標として取組んで参ります。具体的には、信用事業窓口の利便性を確保しながらも、より経営の合理化と効率化を追求することで、漁業経営と漁家の生活設計の確立に、従来以上にお役に立てる体制づくりに全力を傾注して参ります。

常務理事



築谷常務理事

組合員の市場出荷については、組合員全面出荷体制の確立が必要であります。「自分達の市場」という意識をもって全組合員が利用すれば仲買に対する力、また中央市場等に対する影響力も大きくなります、おのずと魚価の向上につながります。JFしまね役職員一同全力を挙げてがんばりますので、組合員の全面利用を是非お願いいたしますと共に、平直なご意見・ご要望を頂きたいと存じます。

常勤監事



岸本常勤監事

連合会を包括承継した、「漁業協同組合JFしまね」は、大規模な組織となり、組合の事業内容も複雑化、高度化等に伴い、組合事業運営を適格に実施していくため、内部牽制体制の一層の強化が要請される。
監事の地位の独立性を保ちながら、会長の直属部署である検査室あるいは、本所の事業管理部と連携をとり、健全な漁協経営維持に努力したい。

参事



原参事

私は、今年1月にJFしまねの参事を拝命し、身の引き締まる思いにて、西郷支所より赴任して参りました。参事職をお受けしたからには、微力ではございますが、なぜ漁協合併がなされたかの必要性と、協同組合精神の基本理念を肝に銘じ、職員一丸となりJFしまね組合員の手足となり働くことが使命であると心得て、今後精進して参ります。
力強く、魅力のある漁協、豊かで明るい漁村創りを、組合員の皆様と一緒に考えて、推進して参ります。

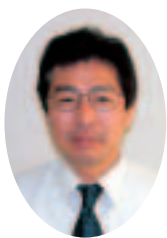
本所

総務部

本所を要とし、全県下の支所、

出張所において各々従来の業務を継承しつつ事業を遂行していく中で、漁業者の経営基盤の確立、組合員の福祉の向上を目的に働くことが、我々従業員に課せられた使命であり、また責務であることは申すまでもありません。総務部職員として、この使命と責任を果たすべく、JFしまね全従業員の意識の高揚と、その実践に向けた取り組みがなされるような職場環境の創造を今以上に推進して参ります。

指導部



小谷指導部長

これまでの協同組合運動の成果と反省をふまえ、これからの「漁業協同組合JFしまね」としての指導事業について支所・本所で十分連携し、組合員へのサービスが

停滞しないよう努力します。また、県下1万2千人の正准組合員への情報提供等、教育情報活動については特に力を入れて行きたいと考えております。

検査室



野坂検査室長

内部検査部署としては、各種のリスクの管理体制とその整備状況を検査し、充実・強化を図って参りたい。特にコンプライアンス（法令等の遵守）への取組については、役職員一体となった運動を通じて、本組合の基本的使命と社会的責任を常に認識し、健全な経営と運営を通じて社会に貢献できる揺るぎない組織として参ります。

事業管理部

「漁業協同組合JFしまね」の事業管理部は、事業管理課と債権管理課の2つの課からなっております。

2つの課とも組合員の皆様とは直接には接する部署ではありません

んが、JFしまねの収支（決算）には大きく関わっております。

まず、事業管理課は、組合員の事業の全般的な管理を行います。特に漁獲された販売物を仲買人に販売していくわけですが、その仲買人の保証金の管理、代金の支払い状況等を管理し、資金の円滑な決済も管理します。

また、債権管理課は、貸出金、種々未収金等が中長期に渡って滞っていないかどうか管理し、回収できない債権等については、保証人、担保等の状況を調査し、状況によっては、保証人との協議、担保の処分等を実施し回収に努めていきます。

なかなか、結論がすぐにできるものではないのですが、地道に活動してまいりますので、今後ともよろしくご指導くださいますようお願いいたします。

信用部



青木信用部長

県内6ヶ所に設置された信用取

りまとめ支所の充実強化を図ると共に、各営業窓口の簡素化やATM化を図ることで窓口利用者の利便性を確保しながら経営の効率化に努めます。また、販売部門との連携強化により、総合事業体の特性を発揮できる金融商品等の提供を行うと共に、JFしまねを受取り窓口にされている年金受給者の方々の組織である「ほっと倶楽部」の旅行企画などの継続実施により地域の皆様方の利用向上に努めます。

共済部



山本共済部長

「信頼と挑戦」のスローガンのもとに、JFしまね合併記念共済推進キャンペーンを大きく展開して参ります。豊富なバリエーションとその人のニーズに合った保障内容を「ご用意して」ご家庭におじゃまさせていただきます。皆様のお力になれるご提案をさせていただきます。これからも保険や共済のご加入にお悩みの方は、気軽にお近く

のJFしまね共済窓口までお立ち寄り下さい。

購買部



草本購買部長

石油事業については、仕入先各社と連携を密にして良質で安価な燃油供給に努めます。

又、魚箱事業は規格統一をはかりましたので、今後はスケールメリットを生かし全利用体制の確立に努め、一般資材については一括仕入、在庫の融通等によりサービスの向上を目指し、組合員の経営安定の為「JFしまね」として、最大限の努力を致しますので、より一層のご協力をお願いします。

松江魚市場



木村場長

組合員の本組合市場へ全面出荷をお願いするとともに、消費地市場としての機能を発揮し、JF各

市場と連携を取りながら、魚価の向上、魚食普及、販路拡大に努めます。

◆支所・事業所

境港支所



中尾支所長

第一の目標として営業強化を行います。販路開拓に努めると共に、県内市場の情報を集め、積極的に買取販売をすることにより、前浜、県内市場の魚価対策を図ります。このことが、組合員の所得向上につながり、後継者確保の一助となればと考えます。また、島根県内で獲れた安全・安心・新鮮な魚を消費者に提供する等「JFしまね行動指針」に基づき組合員の協力を得ながら事業を展開して行きます。

石見統括事業所



浜田所長

石見統括事業所は、購買事業と冷蔵事業、買取販売を行なう営業課からなる部署で、特に購買事業については何処よりも安く良い物を安定供給することをモットーに日々仕入先と交渉を行なっております。組合員の皆様には、系統利用率の向上をお願いし、スケールメリットを最大限いかした事業展開を図っていききたい。

◆出雲地区

美保関支所



林支所長

美保関支所の組合員の漁獲物は主に松江魚市場、境港市場に出荷しているが、境港には他の市場もあり、JFしまねへの全面出荷に

なっていないのが現状である。まだ組合員の中には、従来の漁連、漁協というイメージが抜けきらないうところもあり、今後境港支所と連携を取りながら、定期的に活魚の集荷などを行い、魚価の向上に努め、組合員の皆様へ「自分の魚は自分の市場へ」をアピールし、漁協への全面出荷を目指していき

島根町支所



小灘支所長

JFしまね行動指針に基づいた取組みを念頭に、組合員との連携を図り、地域に密着した体制の確立と運営基盤の強化を目指して努力する所存です。また、安価での供給が予定されているアワビ種苗を利用したアワビ養殖漁業について当支所の特徴ある漁業として育てるとともに、漁業者の所得向上を目指して努力します。

恵曇支所



川上支所長

出雲東部地区における産地市場として、現在20億円を切る水揚高が続いている状況を打破すべく、地元船によるまき網漁業の再興、小型底曳網漁業の増統等を模索し、地元水産業の振興を図るとともに、水揚高30億円を目標とした取り組みの実施を検討します。また、8万個受け入れのアワビ陸上養殖施設を整備し、2年後の6万4千個出荷を目標に販売ルートの構築とJFブランドの確立に努めたい。

平田支所



落合支所長

各放流事業を継続し、更なる漁獲量の増大と、各港に適した漁業種による新規就業者の育成・特産品のブランド化等により漁家経営

の向上を図り、浜に根ざした組合員の支所として職員一同活気のある明るい漁村を目指します。

大社支所



飯島支所長

セリが始まる5時に出勤すると、すでにこの時期、朝はすつかり明けきつて、港に舟影はない。舫の浮子だけが出港した後の残像をいとおしく残している。

西の水平線にオレンジ色の夕日が沈む頃、帰港するエンジン音が心地よく響く。やがて荷揚のおこぼれをねだるカモメの鳴声と、漁師の陽に焼けた声が入り交じる。氷の音、リフトの音、一日の終焉を告げるようにそれらの喧騒が静まると、周りは夜のしじまへとうつろつろ。
白いキャンバスにどのような画が描けるか、しばらくこの地で風が吹かれてみよう。

石見地区

大田支所



金築支所長

JFしまねの行動指針に基づき、「資源豊かなしまねの海作り」「安全・安心・新鮮なしまねの魚の供給」「明日を担う人の育成」を基本理念に、漁業者・青年部・女性部との連携を一層深めると共に、消費者の産地表示要求の高まりに対応したトレーサビリティ等による地域密着型の買取販売の促進等による新規事業の開拓への取り組みにより、漁業者の所得向上を目指したい。

また、学校給食から始まる地産地消や食育活動を通じた地域活動の貢献に、使命感を持って取り組んでいくことを考えています。

仁摩支所



山根支所長

市場統合により多業種による多品目の魚が日々水揚げされているが、魚価の低迷に苦慮しているのが現状である。一方、魚離れにより魚の消費が減少している昨今、付加価値対策としての中央市場並びに量販店への出荷も必要な手段であり実行していく必要がある。また各地で衰退傾向にある、いわゆる「魚屋さん」のネットワークを構築し、一般に流通しにくい魅力のある鮮魚の販売を合わせて推し進めて行きたい。

浜田支所



吉本支所長

漁業環境が悪化の中で、浜田支所の水揚の取扱いが年々減少傾向となり、組合のみならず地域経済に影響を及ぼしておりますので、あらゆる集荷・荷引に尽力すると

共に、新たに、買取・ネット販売による販路拡大に努め、魚価対策を講じる所存です。

運営の基盤は、組合員の利用が前提になります。また、スケールメリットを高めるためにも組合員皆様の全利用をお願いします。

益田支所



大達支所長

支所機能が効率的に発揮できるように支所職員一丸となって、業務、営業時間等の見直しを図りたい。また、組合員の高齢化対策については、益田地区の特色を最大限に引き出しながら後継者の育成に努めて行きたい。

西郷支所



長沢支所長

組合員との連携を一層密にいた

隠岐地区

しまして、漁業者の減少や高齢化対策として自営漁業者の育成事業を実施していくとともに、魚価の向上を目指した、地産地消など地域振興策による様々な取組みをはじめとした隠岐産魚貝類のPRや島外からの集客による離島振興と合わせた漁業振興の発展を目指し、隠岐産の魚貝類における鮮度保持の向上と、隠岐ブランドの確立に取り組みます。

浦郷支所



徳若支所長

離島の特性を最大限に利用して、多種多様な魚介類の周年出荷体制を確立し、管理費等の圧縮や、安価で安定した資材の調達に努め、「活魚販売」「蓄養事業」などの新規事業への参入を図ります。また漁業環境を取り巻く厳しい状況においては、職員が一丸となって知恵をしぼり、離島としてのハンデである輸送コストの減少、安全で高品質な魚の安定供給とあわせて組合員の漁家経営の安定を目指します。



安全・安心・新鮮な島根の魚を届けます。

「麒麟淡麗 生」『しまね定置もんオリジナル』

デザイン缶」発売

JFしまねでは、「カンパ
イ！おいしさ山陰産」として
地産地消活動を応援してい
るキリンビール株式会社山
陰統括支社と協働し、「麒麟
淡麗 生」『しまね定置もん
オリジナル』デザイン缶」を
6月29日から数量限定で発
売します。

キリンビール山陰統括支
社では、島根・鳥取両県でつ
くられるビール大麦が全て
キリンビールとの契約栽培
であり、キリンビール、発泡
酒の原料の一部となってい
ることから、量販店や飲食店
において、四季折々の地元の
おいしい食材の「地産地消」
啓発活動を応援し、山陰の美
味しさを盛り上げています。
「しまね定置もん」は、より
鮮度の良い安全な魚を、食卓
で安心して味わって欲しい
という生産者の思いから始

められ、殺菌冷海水を使い鮮度
保持と衛生管理にとことんこ
だわった「JFしまね」の認証品。
JFしまねの行動指針である安
全・安心・新鮮な島根の魚の先
頭を走る商品です。加えて、こ
の取り組みに賛同し、「しまね
定置もん協力店」として県産水
産物を積極的に販売している量
販店なども多くあります。

JFしまねでは、消費者と情
報を共有することにより、しま
ねの魚への理解を深めてもら
い、更に品質の高い商品づくり
につなげていくことは勿論、県
産水産物の消費拡大を展開して
いきます。



『観天望気』

朝起きて空を見上げ、テレビ等の
気象予報を頭に入れながら「観天望
気」。今日の天気は、風は、波高は、
今夜は出漁できるかな...と。その時
は真に浜の第一線の漁師さんと心は
一つである。気象が刻々と変化する
海を生活の場とする漁師さんにとつ
て、「観天望気」は生命にもかかわる
最も大切なことである。最先端技術
を駆使する気象衛星「ひまわり」か
らの情報を活用した予報よりも、漁
師さんの観天望気による予報の方が
良く当たることしばしばあるから
おもしろい。

「観天望気」とは...
天文から天気を判断するのが観天、空
模様や色合いから天気を知るのが望気。
〜日本語大辞典〜

華やかな夏を告げる魚として馴染
が深く、島根の県魚にも指定されて
いる「トビウオ」は、飛翔というト
ビウオのもつ特性のため、飛躍をイ
メージし、縁起のよい魚とされてい
る。かつて昭和天皇が皇太子時代に

外遊された折、お召しの軍艦にトビ
ウオが飛び込み、御供の人は吉兆で
あると大いに喜び陛下にご報告した
という有名なエピソードもある。ト
ビウオの飛びたつ時のスピードは、
時速70km。観測された記録では、高
さ10m、距離400m、滞空時間42
秒とある。

「トビウオ」はなぜ飛ぶのかという
質問に対して、よくシイラなどの捕
食魚から逃れるためだと言われてい
るが、海上には海鳥が待ちうけてい
る事もあらず、必ずしも安全と
は言えない。

高名な博物学者フンボルトは「ト
ビウオは純粹に楽しむために飛ぶ」
と考えたと言われているが、私は
「トビウオが飛ぶのは『観天望気』
のためである」と思っている。海
の中に棲息する魚達も、気候の良い季
節には、時々海上から空模様や世相
を偵察し情報交換、その諜報役がト
ビウオなのでは...。

真実はトビウオのみが知るとこ
ろ。
素晴らしい魚食文化と夢を与える
海に感謝したい。

（宏山）
皆様からのひとこと随想をお待ちし
ております。（JFしまね 明るい漁
村係」まで）

県内の漁獲量が減少傾向にあり、今後の魚が心配されていましたが、ここ最近、各地で漁獲量が回復し、浜も市場も「活気」と「笑顔」を取り戻しつつあります。
「浜の笑顔」は、JFしまねの原動力。これからの『明るい漁村』は、島根の漁村の方々とJFしまねが一緒に築いていく「浜に笑顔を与える」広報誌を目指します。（N）

編集後記

明るい漁村

第161号

JF
JFしまね

漁業協同組合 JFしまね

編集兼発行人 / 漁業協同組合 JFしまね

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575

TEL 0852 210001
FAX 0852 276130